

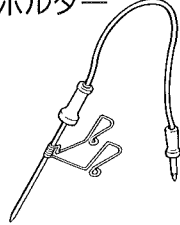
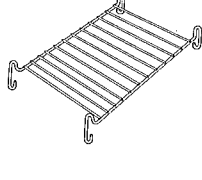

日立クッキングヒーター システムキッチン用ビルトインタイプ 設置工事説明書

HT-MRA3形

設置工事をされる方へのお願い

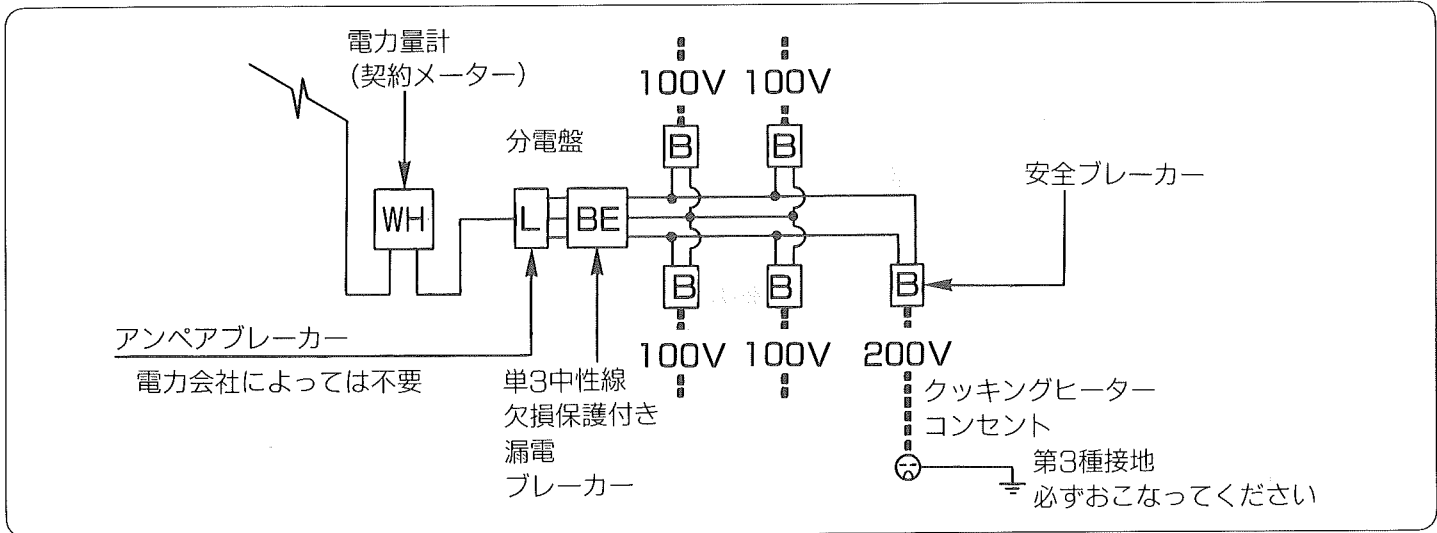
- この器具は、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生ずる場合がありますので、別刷「安全のため必ずお守りください」とこの説明書をよくお読みのうえ、適切な工事をお願いいたします。
 - 電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方がおこなってください。
 - 工事完了後は、必ず確認チェックをおこない、お客様へご説明ください。
 - 別刷「安全のため必ずお守りください」とこの説明書は、必ずお客様へお渡しください。
- ※家具製造業者などが家具などや流し台などに取り付けて販売する場合は、乙種電気用品の届出が必要です。

同梱部品の確認


温度センサーホルダー 	焼網 	付属ネジ (φ4×14⊕バインドダッピンネジ1種)  4個
--	---	---

单相200V専用コンセントの設置

○専用回路の設置

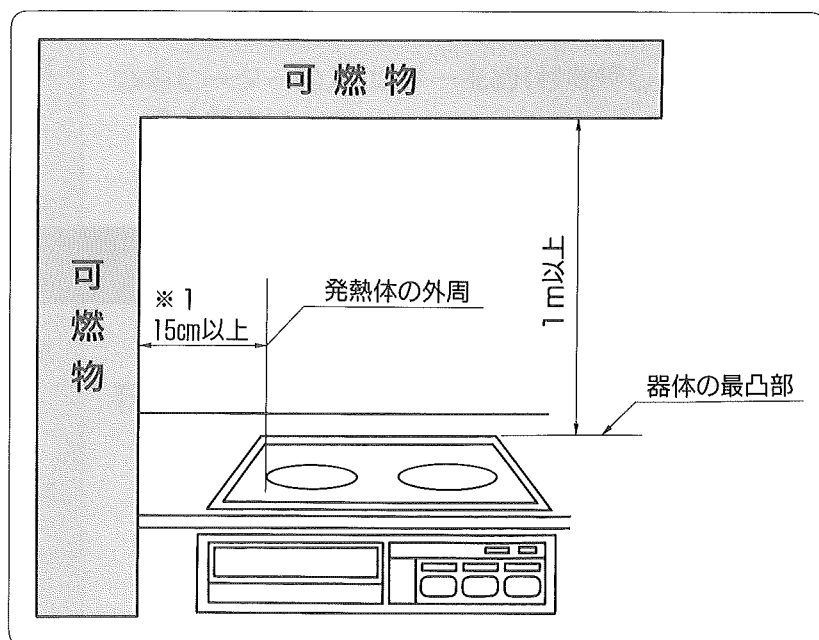


- クッキングヒーター用のコンセントは、規格で次のようなものが標準品となっていますので、事前にご確認の上、設置してください。

器具の容量	電線の太さ	コンセントの形状
30A	φ2.6mm	 单相200V用(接地極付) 250V-30A

設置場所の確認

- 火災予防条例、電気設備技術基準第182条に従って設置してください。
- クッキングヒーターは電気用品取締法で定められている平常温度上昇試験で各部の温度が95°C、異常温度上昇試験で145°Cとなると推定し、システムキッチンのクッキングヒーター近傍の材料はそれに耐える物を使用してください。
- カウンタートップは熱硬化樹脂化粧板（JIS・K・6903）と同等以上の耐熱性のある物を使用してください。
ニス引きのものは変色しますので使わないでください。
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第182条により義務づけられています。）
- 製品は水平に設置してください。
- 製品は火災予防上、可燃物との間を図のように離して取り付けてください。

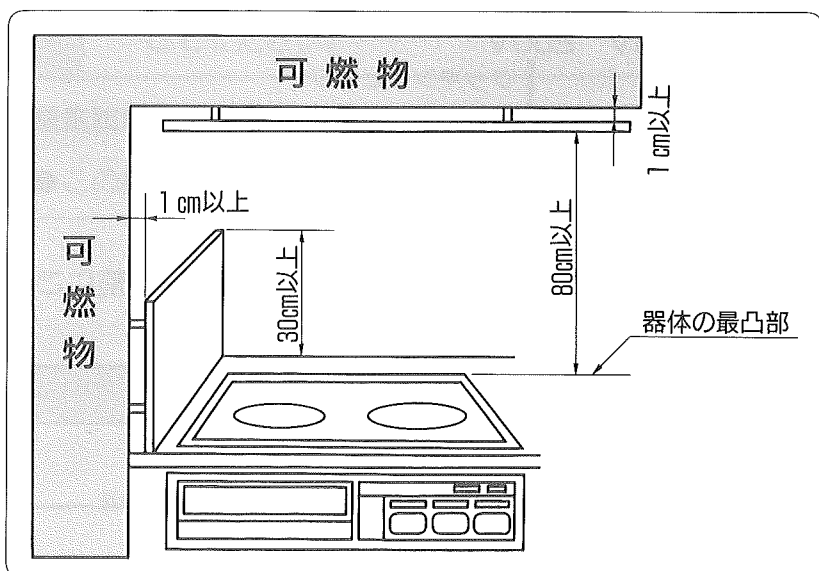


※1

1 kW以下	10cm
1 kWを越え2 kW以下	15cm
2 kWを越え3 kW以下	20cm

☆製品の前面はできるだけ広く（60cm以上）あけて通行時や冷蔵庫、家具等の扉が当たらないようにしてください。

- 上記寸法がとれない場合には、不燃材による防熱板を取り付けてください。



☆防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35°Cの時、100°Cを越えない断熱性を有すること。衝撃等によって変形のないよう補強してください。

システムキッチン温度上昇

- システムキッチンに使用する材料は145°Cの熱に耐えるような材料を使用してください。また、接着剤等の耐熱性にもご注意ください。

1 異常温度上昇試験において、システムキッチンの各部分の温度は145°C。

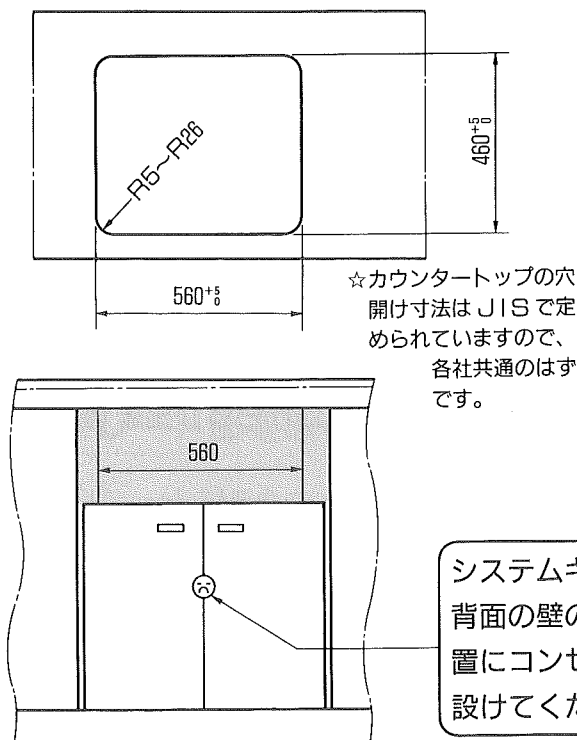
この試験条件は左右のヒーターにフライパンを空でのせ、強火で連続通電すると共に、グリルの庫内温度を約280°Cに保つ状態に相当します。

2 平常温度上昇試験においてシステムキッチンの各部分の温度は95°C。

この試験条件は左右のヒーターに水を入れた鍋をのせ、強火で連続通電すると共に、グリルの庫内温度を約280°Cに保つ状態に相当します。

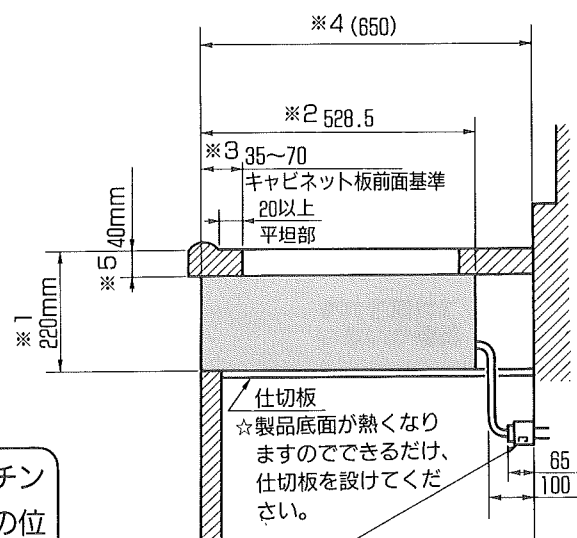
システムキッチン加工寸法図 単位：mm

●カウンタートップ穴寸法



●側面図

- 部分への突起は不可。



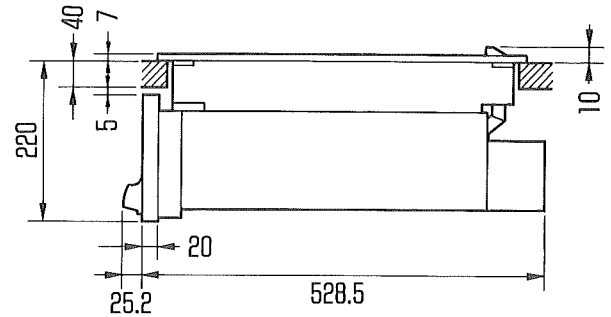
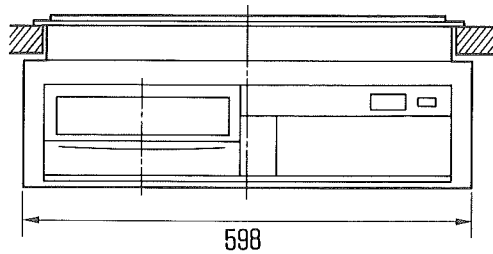
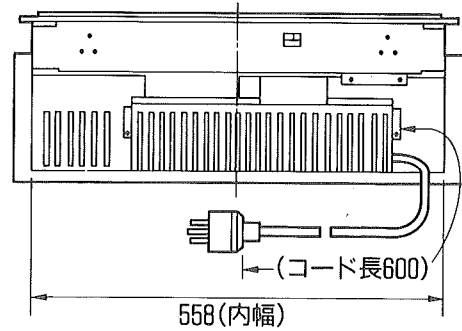
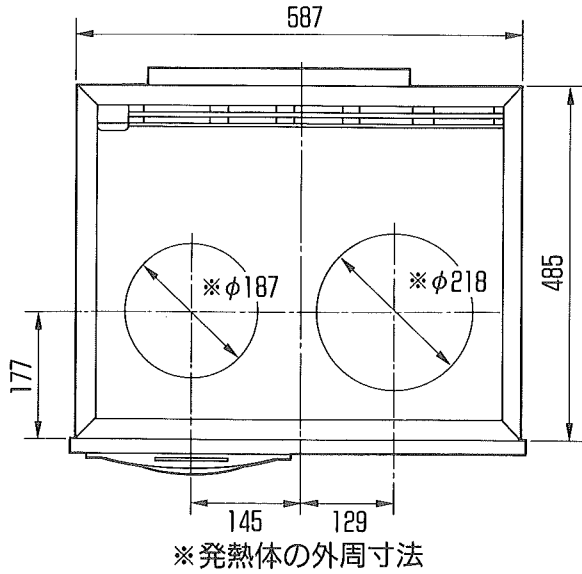
システムキッチン
背面の壁のこの位
置にコンセントを
設けてください。

- ☆※1、※2の寸法は製品寸法ですからこの部分に突起物がないようにしてください。
- ☆※3の寸法はカウンタートップの穴位置の基準を示し、この範囲であれば設置できます。

- ☆※4の寸法に合わせてプラグがぶつからない位置にコンセントを設置できます。
- ☆※1は270の場合には、別売の下ルーバーがありますのでご準備ください。
HT-MRA3……………HT-D4E
- ☆※5が30の場合には、別売の上ルーバーがありますのでご準備ください。
HT-MRA3……………HT-D4F

製品寸法図

単位：mm



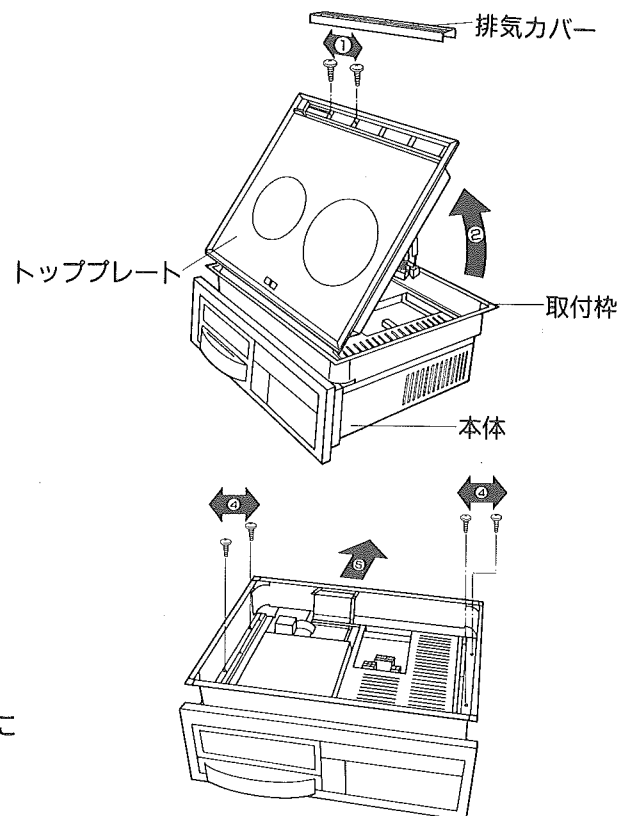
設置方法

ブレーカーは必ずしゃ断して工事してください。

※金属端面部が多いため、けがをしないように注意してください。

1 梱包材を取りはずし、トッププレート部、取付枠、本体の3つに分解する

- ① 排気カバーをはずし背面の排気口からネジ(M4×8, クロ)2個をはずします。
- ② 背面の排気口側からトッププレートを上に持ち上げ本体からはずします。
- ③ 本体とトッププレート部のコネクターを3ヶ所はずします。
コネクターは必ずコネクター部を持ってはずしてください。
- ④ 取付枠と本体を取付けているネジ(M4×8)4個をはずします。
- ⑤ 取付枠を後に引き抜き、本体からはずします。

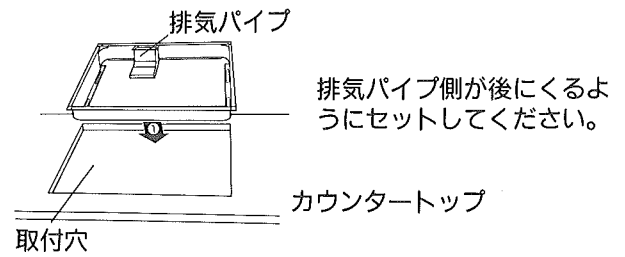


※はずしたネジは、後で使いますので紛失しないように注意してください。

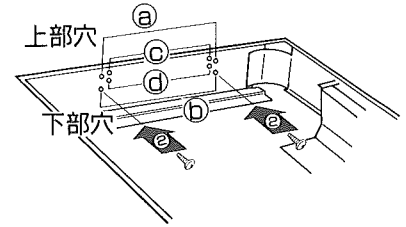
設置方法

2 取付枠を取付ける

- ① 1-⑤ではずした取付枠をシステムキッチンカウンタートップ取付穴に取付ける。
(取付穴の中央にくるように左, 右のすき間がほぼ均等になるように固定してください。)
- ② 同梱の付属ネジ4個で仮止めをする。
(取付枠側面に付属ネジ取付用の穴が6ヶ所あります。a, b, c, dのいずれかの穴に4ヶ所(左, 右2ヶ所)ネジで仮止めしてください。)

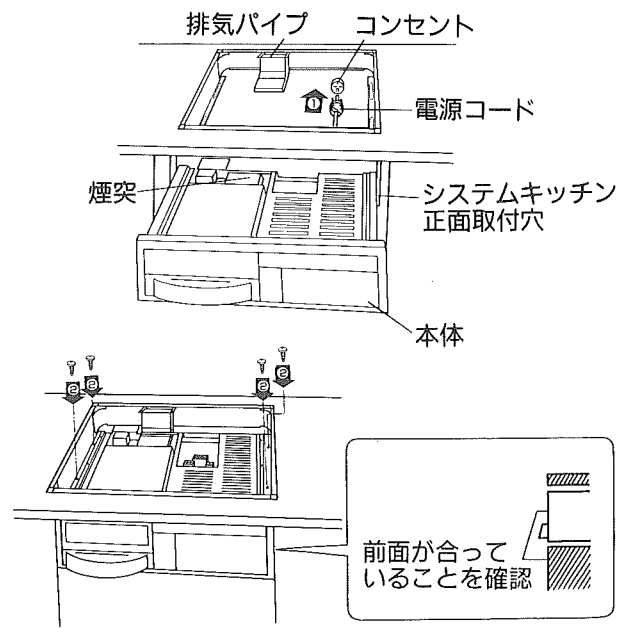


⑥穴(下部穴)で取り付けた場合



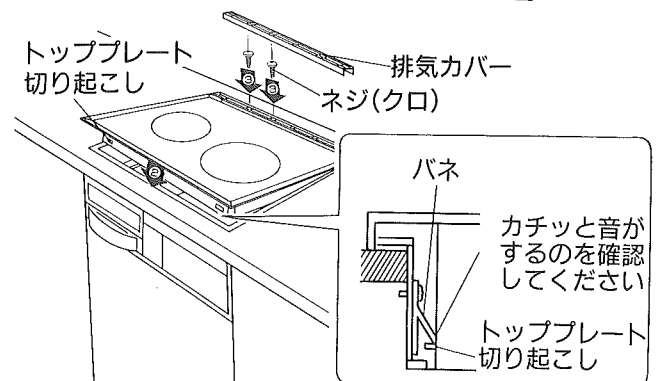
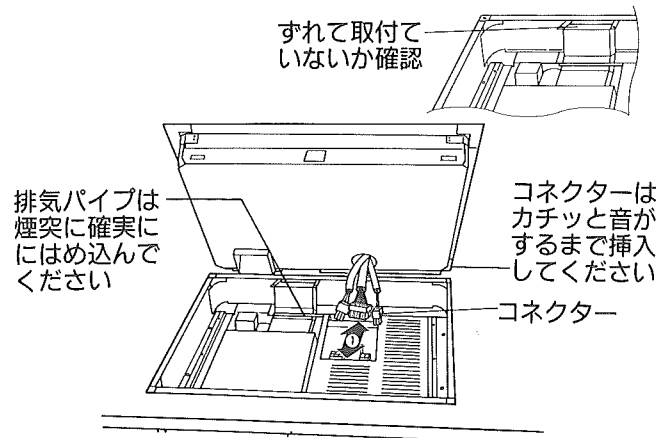
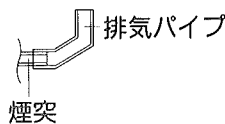
3 本体を正面から差し込む

- ① プラグをコンセントに接続後、本体を取付枠に差し込む。
(排気パイプに本体の煙突を確実にめ込んでください。)
(排気パイプと煙突がはめ込みにくい場合は、排気パイプを取付枠からはずして、先に煙突にはめ込んでから再度、取付枠に取付けてください。)
(排気パイプが、ずれていないか確認してください。)
- ② システムキッチン前面と本体の前面の位置を合わせてから、1-④ではずしたネジ(M4×8)4個で固定し、最後に2-②で仮止めしていたネジを固定します。



4 トッププレート部を取付ける

- ① トッププレート部をカウンタートップの上のせて本体とトッププレート部のコネクターを接続します。
(コネクターを引っ張っても外れないことを確認してください。)
- ② トッププレート部を取付穴に挿入します。このときトッププレート部前面の切り起こしが取付枠前面のパネに引っかかるのを確認してください。
※リード線がかみ込まないよう注意してください。
- ③ トッププレートを1-①ではずしたネジ(M4×8, クロ)2個で固定し、排気口の上に排気カバーをのせます。



工事完了後の確認

●設置工事終了後、次の手順で確認しチェックしてください。

	確認項目	
梱包材の取りはずし	グリルドア、操作パネル部の止めテープを取りはずしたか確認してください。	
	グリル皿内部、トッププレート上に梱包材がないか確認してください。	
電気工事	接地工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電気試験	①電源電圧が単相200Vであることを確認してください。	
	②電源スイッチを入れてください。 ➡ 電源ランプ0:00が点灯する。	
	③右ヒーターの入/切キーを約1秒間押ししてください。 ➡ 火カランプ(8ヶ)と余熱注意ランプ(トッププレート)が点灯し、約5秒後にヒーターが赤熱する。	
	④左ヒーターの入/切キーを約1秒間押ししてください。 ➡ 火カランプ(8ヶ)と余熱注意ランプ(トッププレート)が点灯し、約5秒後にヒーターが赤熱する。	
	⑤グリルヒーターの入/切キーを約1秒間押ししてください。 ➡ 火カランプ(右側1ヶと左側2ヶ)が点灯し、約30秒後にグリルヒーターが赤熱する。	
	➡ 排気口から風が出ている。 (風は左側の排気口からしか出ません。)	
⑥温度センサーをセンサー差込口に挿入し、左ヒーター入/切キーを約1秒間押ししてください。 ➡ 火カランプ(左側1ヶ)が点灯し、約5秒後にヒーターが赤熱する。		

★電気試験後、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

●この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しください。

日立冷熱株式会社

〒101 東京都千代田区神田須田町1-23-2
(大木須田町ビル)
電話 (03)3255-7201

株式会社 日立ホームテック

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111